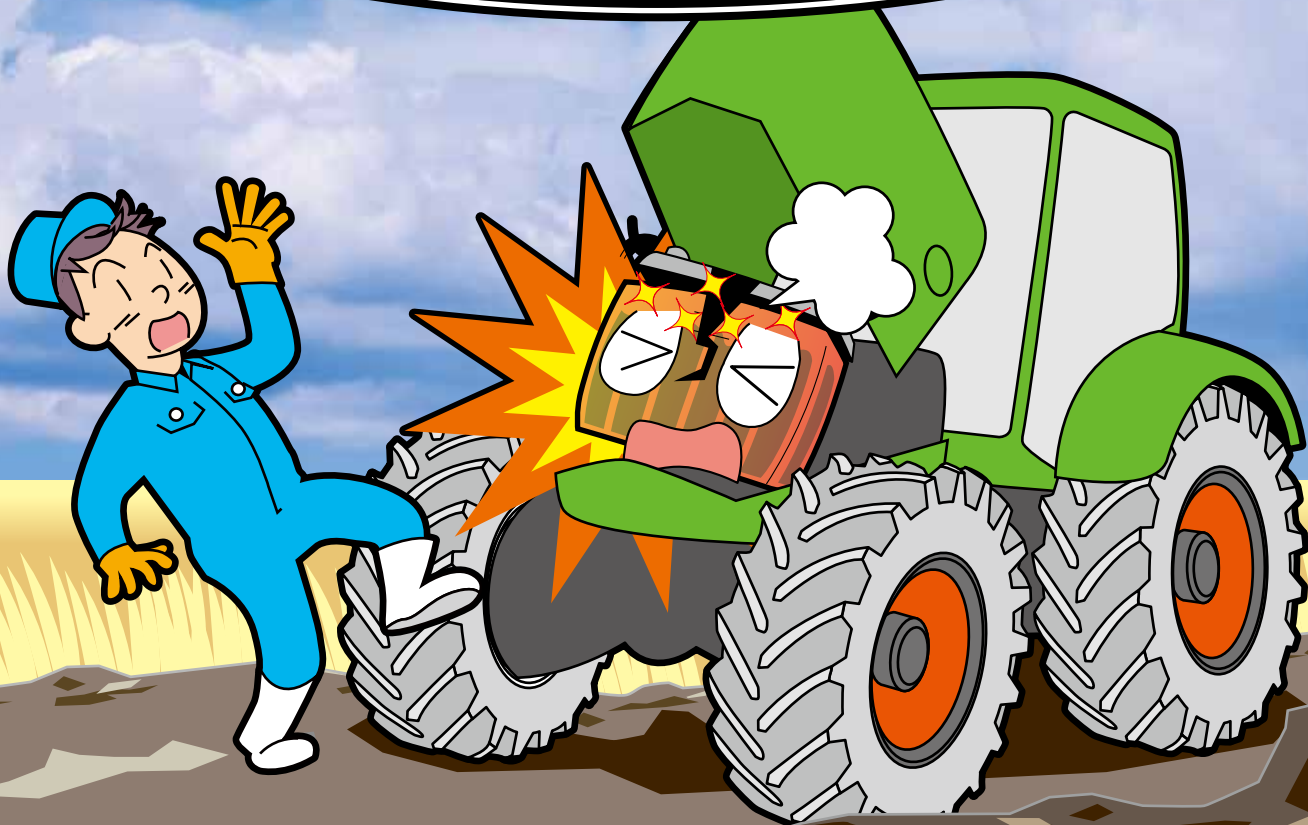


# 農業機械用途での バッテリーの爆発を防止するために

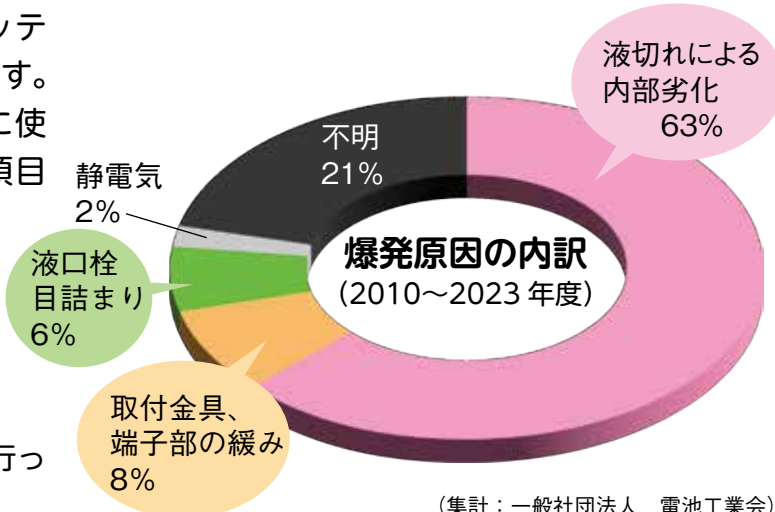


**農業機械用途のバッテリー爆発事故は、液切れなどのメンテナンス不足が原因で発生しています。**

バッテリーの日常点検を怠ると、バッテリーの爆発事故につながる恐れがあります。また、シーズン開始時など久しぶりに使用する際も注意が必要です。以下の項目を点検してください。

- ① 液切れしていないか
- ② バッテリー取付金具や端子に緩みがないか
- ③ 液口栓が目詰まりしていないか

※ 静電気を逃がしてから点検や作業を行ってください。



(集計：一般社団法人 電池工業会)

詳細は裏面へ!

# ご使用前に点検を実施しましょう!

## ① 液量点検

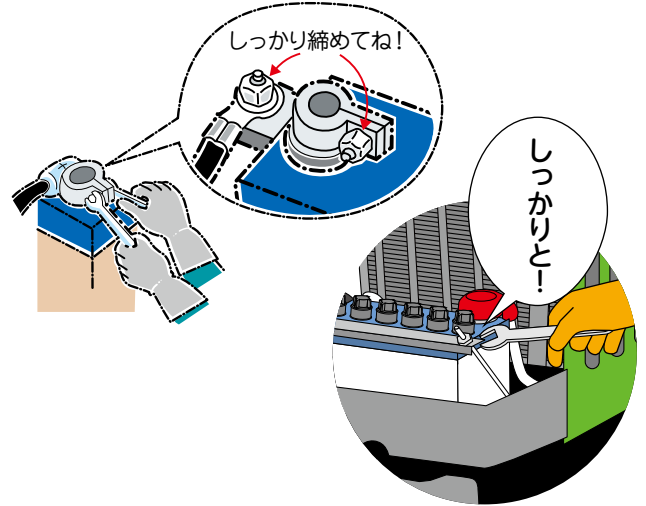
液量が液面線間の中間以上に入っていることを確認してください。LOWER LEVEL（最低液面線）以下で使用するとバッテリー内部の劣化が進み、バッテリーの寿命を縮めるばかりでなく爆発の原因となります。なおUPPER LEVEL（最高液面線）以上にすると液があふれ、機器の損傷や火災の原因となりますので、注意してください。



▼アドバイス：液口栓（キャップ）を開けた時は、補水後しっかりと締め付けてください。

## ② バッテリー取付金具や端子の緩みの点検

ケーブル端子にゆるみが無く、バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



- バッテリーの固定が不十分なまま使用すると、機械の振動によってバッテリーの破損や内部部位の劣化が進み、バッテリーの寿命を縮めるばかりでなく爆発の原因となる恐れがあります。
- ケーブル端子の締付けが緩んだままで使用すると、接触不良によりスパークしバッテリーの端子が損傷するばかりでなく爆発の原因となる恐れがあります。

## ③ 外観点検（液口栓目詰まり）

バッテリー上面に泥や埃が堆積し液口栓の排気孔が目詰まりすると、バッテリーの内圧上昇により電槽やふたが破裂する恐れがあります。水で湿った布で、定期的にバッテリー上面を清掃してください。

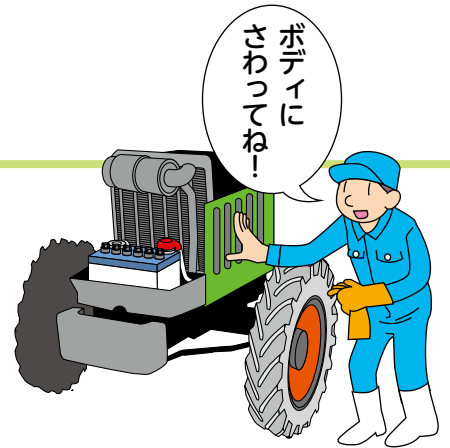
なお、農機具用途においては、凸形（突出形）の液口栓の使用をお勧めします。



## ※ 静電気

◆バッテリーを乾いた布などで清掃しないでください。静電気による引火爆発の原因になる恐れがあります。バッテリーは湿った布で清掃してください。

◆乾燥した季節は、特に人体・衣服に帯電しやすく、バッテリーを取扱うときは、機械の金属部分を素手で触って、静電気を逃がしてから点検や作業を行ってください。



⚠ 危険

バッテリーの液量が「LOWER LEVEL」以下になったままで使用しないでください。バッテリー内部部位の劣化が進み、バッテリーの寿命を縮めるばかりでなく、爆発の原因となります。

⚠ 警告

「UPPER LEVEL」以上に補水しないでください。液あふれによる車両損傷の原因となります。



🚫 禁止

バッテリーに火気を近づけたり、ショート、スパークをさせないこと。



⚠ 危険

金属工具による接触でスパークさせないように注意する。



🚫 禁止

分解しないこと。



⚠ 注意

ブースターケーブルや充電器による充電は、風通しの良い場所で行うこと。